

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)熊谷流通センター組合会館 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 埼玉県熊谷市問屋町2丁目4番180 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 準工業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 80人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,563時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所、集会所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2025年7月 予定 | 評価の実施日 | 2025年4月25日 |
| 敷地面積 | 5,288㎡ | 作成者 | 小原学 |
| 建築面積 | 2,677㎡ | 確認日 | 2025年4月25日 |
| 延床面積 | 3,580㎡ | 確認者 | 小原学 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|--|
| 総合 | | その他 |
| <ul style="list-style-type: none"> 安心して利用できるよう重要度係数を1.25とした 機能的で賑わいが創出されるよう計画した 経済的で環境にやさしい施設となるよう配慮した | | 0 |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| <ul style="list-style-type: none"> 直達日射を遮蔽しつつ、自然採光を適切に確保できるよう配慮した 自然換気に配慮し、風の経路を確保した | <ul style="list-style-type: none"> 将来対応も考慮し、今回倉庫となる室についても事務室と同じ仕様とした | <ul style="list-style-type: none"> 適切な緑地環境を整備した |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| <ul style="list-style-type: none"> 一次エネルギー消費量の削減量を52%とした(BEI=0.48) | <ul style="list-style-type: none"> スケルトン・インフィルを明確に分離し、将来対応しやすい計画とした | <ul style="list-style-type: none"> 条例上求められないが、適切な広さの廃棄物保管庫を計画した |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

| | | | | | |
|------|------------------|-----|-----|--------|------|
| 建物名称 | (仮称)熊谷流通センター組合会館 | BEE | 1.8 | BEEランク | ★★★★ |
|------|------------------|-----|-----|--------|------|

2 重点項目の評価

| | | | | | |
|---|---|---|---|-----|--|
| ライフサイクルCO2の削減のスコア | | 緑の保全・創出のスコア | | | |
| 4.4 | + | 2.3 | = | 6.7 |  |
| 重点項目の各スコアの合計点 | | | | | |
| がんばろう 6.0未満 | 良い 6.0以上 | 非常によい 6.8以上 | すばらしい 8.0以上 | | |
|  |  |  |  | | |

3 重点項目についての環境配慮概要

| | | | |
|--|-----------------|-------|-----|
| (1) ライフサイクルCO2の削減 | | スコア平均 | 4.4 |
| ＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞ | | | |
| LR3 敷地外環境対策 | 1. 地球温暖化への配慮 | スコア | 4.4 |
| 建物の断熱性能を高めるため、断熱材を適材適所に配置し、Low-E複層ガラスを採用します。また、南面にはルーバー・ピロティを設け、東西面は直達日射が入りにくい外壁形状とすることで、日射量を抑制します。断熱性能を高め、室内に侵入する日射を抑えることで空調機器の負荷を低減するとともに高効率機器の採用により空調効率を高め、一次エネルギー消費量の削減を図っております。 | | | |
| (2) 緑の保全・創出 | | スコア平均 | 2.3 |
| ＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞ | | | |
| Q3 室外環境(敷地内) | 1. 生物環境の保全と創出 | スコア | 2.0 |
| Q3 室外環境(敷地内) | 3. 2 敷地内温熱環境の向上 | スコア | 2.0 |
| LR3 敷地外環境 | 2. 2 温熱環境悪化の改善 | スコア | 3.0 |
| 敷地内には適切な緑地を確保し、生物環境の保全と創出に寄与するよう努めております。東西面の建物寄りに緑地を確保することにより、建物周囲での外気温を下げる効果があると考えております。 | | | |

: 入力欄